

2022年度(令和4年度)下水道事業の決算見込みの概要

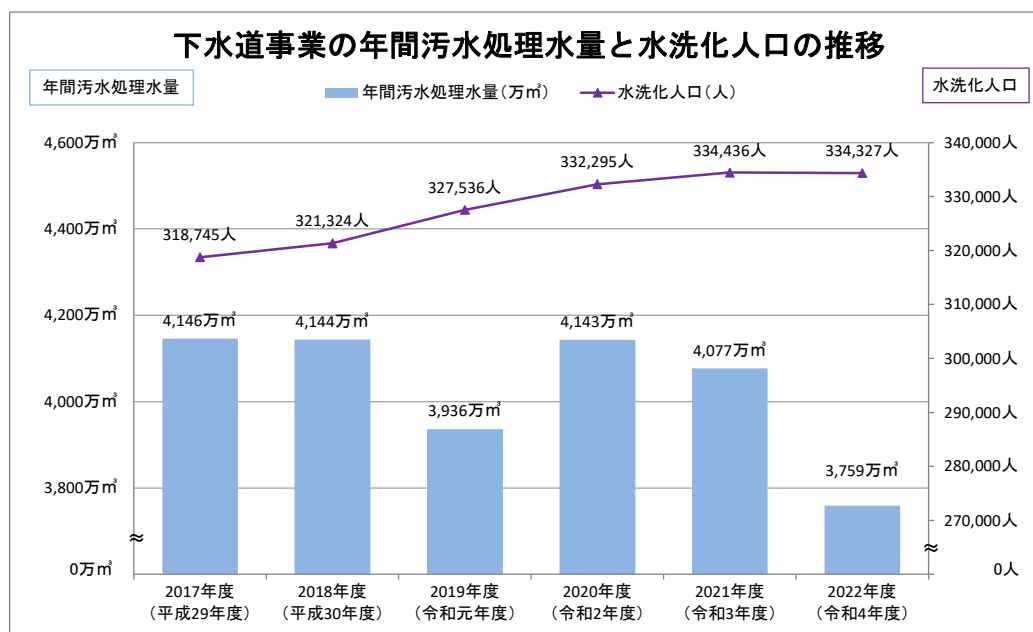
2022年度(令和4年度)下水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

下水道事業

1 業務状況

下水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2022年度 (令和4年度)	2021年度 (令和3年度)	増 減
処 理 区 域 内 人 口	350,209 人	351,267 人	△ 1,058 人
人 口 普 及 率	76.3 %	76.1 %	0.2 點
水 洗 化 人 口	334,327 人	334,436 人	△ 109 人
水 洗 化 世 帯 数	157,823 世帯	155,860 世帯	1,963 世帯
汚 水 処 理 水 量	37,593,016 m ³ /年	40,773,620 m ³ /年	△ 3,180,604 m ³ /年
一 日 平 均 汚 水 処 理 水 量	102,995 m ³ /日	111,709 m ³ /日	△ 8,714 m ³ /日



2 建設改良事業の概況

2022年度(令和4年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

○公共施設整備事業【63億868万円】

下水道管渠耐震化工事(4-1)

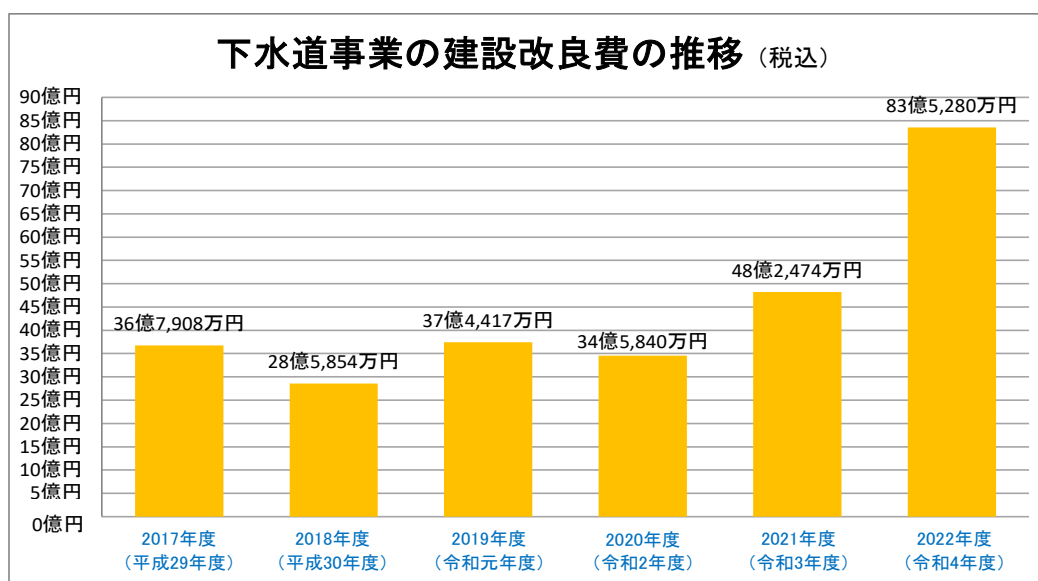
蔵王雨水幹線及び蔵王ポンプ場の建設工事 外

○単独施設整備事業【18億8,629万円】

小口径管推進工事(流関3-35) 外

○流域下水道整備事業【1億3,461万円】

芦田川流域下水道建設負担金



円形管埋設工事



蔵王雨水幹線建設工事

3 財政状況等

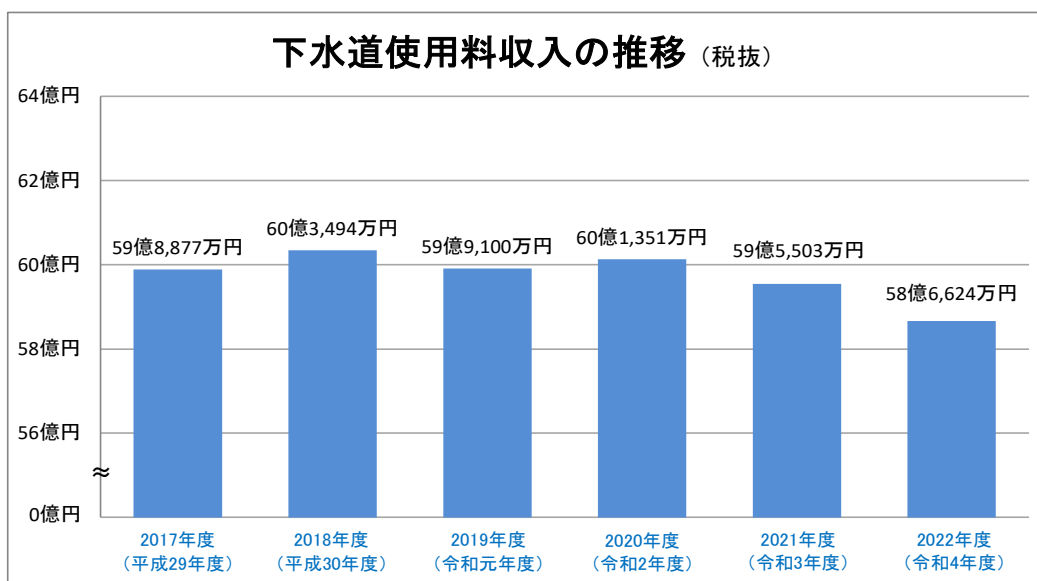
(1) 収益的収支(下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、他会計負担金が電気代高騰に対する国の臨時交付金の受入れにより増加したものの、下水道使用料などが減少したことから、前年度と比較して、2,173万円(0.2%)減少し、116億7,922万円となりました。

一方、事業費用は、支払利息などが減少したものの、負担金や旧明王台浄化センター用地の売却による特別損失などが増加したことから、前年度と比較して、3億2,758万円(3.3%)増加し、103億6,148万円となり、差引13億1,774万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜)

事 項	2022年度 (令和4年度)	2021年度 (令和3年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、下水道使用料収入) (うち、繰入金)	116億7,922万円 (58億6,624万円) (35億7,950万円)	117億95万円 (59億5,503万円) (34億6,765万円)	△2,173万円 (△8,879万円) (1億1,185万円)
収 益 的 支 出	103億6,148万円	100億3,390万円	3億2,758万円
差 引	13億1,774万円	16億6,705万円	△3億4,931万円

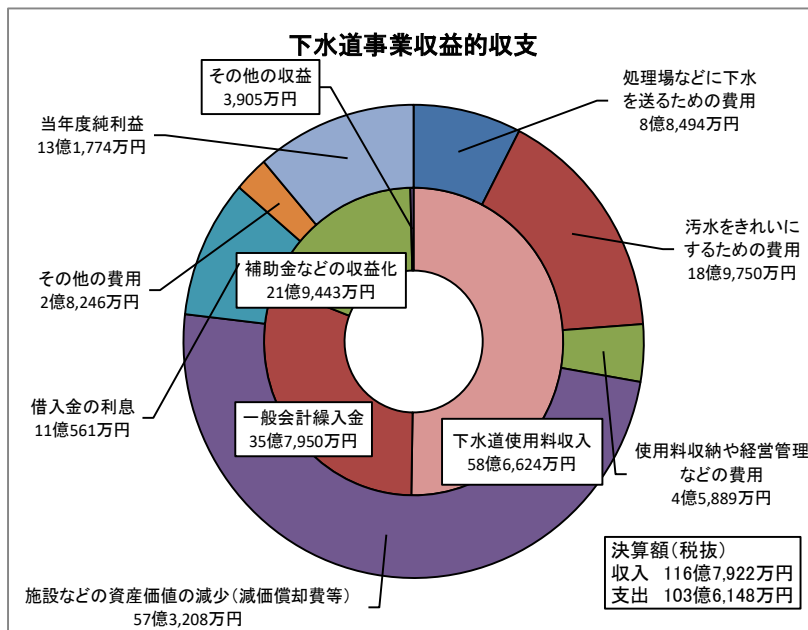


下水道事業損益計算書

【2022年(令和4年)4月1日から2023年(令和5年)3月31日まで】

(税抜)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	下水道使用料	58億6,624万円	下水道使用料収入
	受託事業収益	3,176万円	その他の収益
	他会計負担金	14億6,704万円	一般会計繰入金
	その他営業収益	38万円	その他の収益
営業費用	管渠費	4億4,873万円	処理場などに下水を送るための費用
	ポンプ場費	3億7,635万円	
	処理場費	2億6,864万円	汚水をきれいにするための費用
	排水設備費	5,986万円	処理場などに下水を送るための費用
	受託事業費	2,896万円	その他の費用
	流域下水道費	16億2,886万円	汚水をきれいにするための費用
	業務費	2億2,994万円	使用料収納や経営管理などの費用
	総係費	2億2,895万円	
	減価償却費	56億8,876万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	4,332万円	
営 業 利 益		△16億3,695万円	
営業外収益	受取利息	1万円	その他の収益
	他会計負担金	21億1,246万円	一般会計繰入金
	長期前受金戻入	21億9,443万円	補助金などの収益化
	雑収益	498万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	11億561万円	借入金の利息
	雑支出	6,615万円	その他の費用
経 常 利 益		15億317万円	
特別利益	固定資産売却収益	158万円	その他の収益
	その他特別利益	34万円	
特別損失	固定資産売却損	1億8,425万円	その他の費用
	過年度損益修正損	310万円	
当 年 度 純 利 益		13億1,774万円	



(2) 資本的収支(下水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

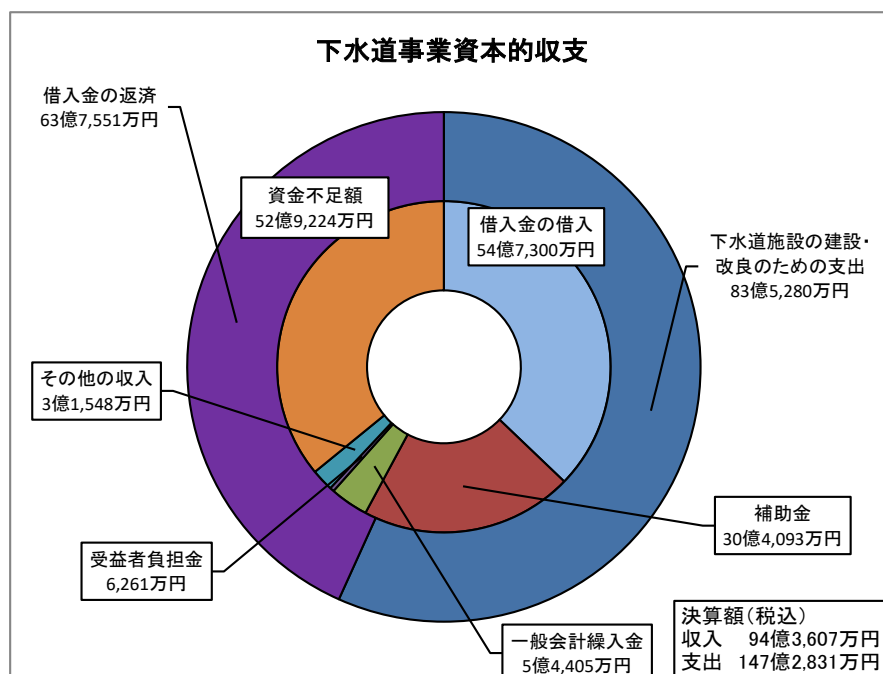
資本的収入は、蔵王雨水幹線・蔵王ポンプ場の建設工事などに伴う企業債(借入金)や国庫補助金などにより、前年度より大幅に増加し、94億3,607万円となりました。資本的支出は、当該工事などの建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、147億2,831万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、52億9,224万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、1億9,777万円増加し、18億5,207万円となりました。

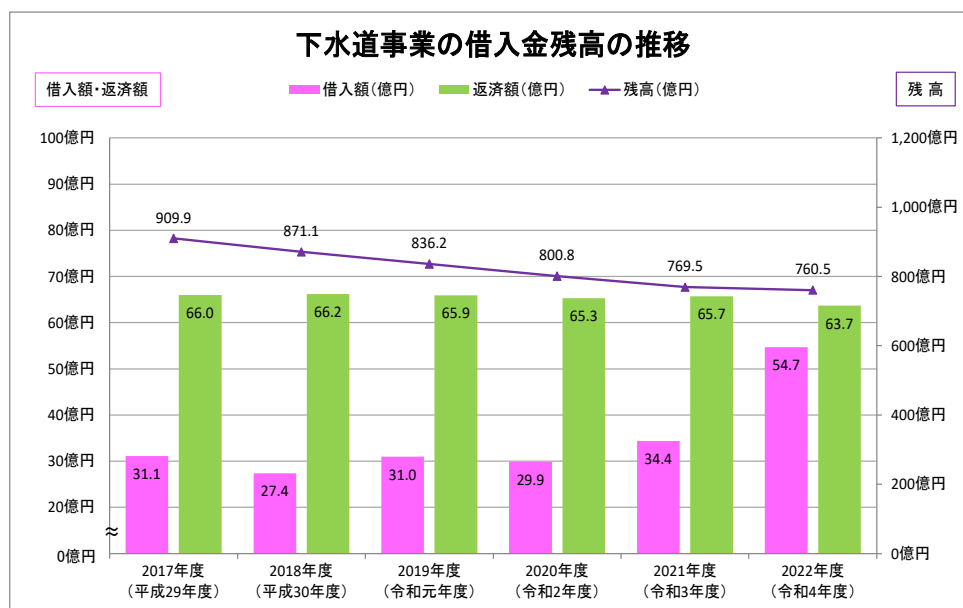
(税込)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	94億3,607万円	
企業債	54億7,300万円	借入金の借入
国庫補助金	30億4,093万円	補助金
出資金	5億4,405万円	一般会計繰入金
工事負担金	2億8,352万円	その他の収入
受益者負担金	6,261万円	受益者負担金
受益者分担金	373万円	その他の収入
固定資産売却代金	2,823万円	
資本的支出	147億2,831万円	
建設改良費	83億5,280万円	下水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	63億7,551万円	借入金の返済
差 引	52億9,224万円	不足額



(3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて9億251万円(1.2%)減少し、760億4,647万円となりました。



(4) 貸借対照表

下水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

下水道事業貸借対照表

【2023年(令和5年)3月31日】

(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	1,673億7,070万円	固定負債	701億5,912万円
有形固定資産	1,611億6,130万円	企業債	698億7,089万円
無形固定資産	61億9,677万円	引当金	2億8,823万円
投資その他の資産	1,263万円	流動負債	103億6,306万円
流動資産	60億3,955万円	企業債	61億7,558万円
現金及び預金	53億811万円	未払金	41億3,024万円
未収金	7億3,135万円	引当金	3,643万円
その他流動資産	9万円	その他流動負債	2,081万円
		繰延収益	660億9,103万円
		長期前受金	660億9,103万円
		資 本 の 部	
		資本金	226億3,439万円
		資本金	226億3,439万円
		剰余金	41億6,265万円
		資本剰余金	11億7,785万円
		利益剰余金	29億8,480万円
		(うち当年度純利益)	(13億1,774万円)
合 計	1,734億1,025万円	合 計	1,734億1,025万円

(5) キャッシュ・フロー計算書

下水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	28億9,510万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴う現金・預金の収支)	49億8,962万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (下水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△22億1,815万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△3億5,846万円
当年度末の現金・預金の残高	53億811万円